

ANGEL COMICS
ACTION PIZAZZ
BRAND

成年
コミック

ワンルーム ハーレム

ONE ROOM HAREM

異世界帰りの
勇者さま



Rumi Matsunemi

松波留美



CONTENTS

- 003 第1話 帰ってきた俺
023 第2話 私にできること
041 第3話 強引なあいつ
059 第4話 俺にあるもの
077 第5話 努力の才能
095 第6話 私の学び
113 第7話 いきなり来た彼女
131 第8話 絶望と信頼と
149 最終話 みんなでひとつに

167 お届けガール つまみ食い♥

186 あとがき
187 初出

その日俺は
長い夢から覚めた

はず
だったのに…

私のおっぱい
気持ちイイですよね？

え…あの…
二人とも…
いい…よ…

はあ!!

ドキ

ドキ

アニ

ニ

ふん
ふん
ふん

じき

うん

アタシの方が
いいだろ!?

それじゃ
ダメです!

こうなったら…!

がばっ

もー!!





勇者さまのが
奥まで...♡



ふ...あ...っ

ズン
ズン

ん...ん...

ズン

ん...



固くて...
すご〜く...良い...です...♡

う...あ...
はげし...すぎ...っ

グ
グ
ちゅん
ちゅん



はい
次はアタシの番!

ドーン!

きゃあ!?

ん...あ...
入って...

あ...
あ...
あ...

あ...

あ...



勇者さま
私にも♡

は...はい

おかし...くな...っ

あ...

んあ
ああ

あ...

あ...

あ...

指...も
気持ちいい...!!

あ...

あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...



あぁっ
腔内に
熱いの...っ!

もう...ダメだ...
イく...!

びゅるっ

びゅん

びゅん

イっしょにやっ!

ぶさぶさ!!

アッ
ヤ
ク
ッ

ワンルーム ONE ROOM HAREN ハーレム

第1話 帰ってきた俺

〜 超絶世界征服の
勇者たち〜



就職活動中の
大学生の俺
天沢陸は

目覚めなさい

...う...

え...

か
い
ば
っ



どこだ
こころ!?

お目覚めですか
勇者さま

勇者!!?



貴方はこの世界に
魔王を倒す者として
召喚されたのですよ
勇者さま

ある日異世界に
召喚されてしまった

アニメみたいな境遇に
俺がなってしまうとは...

でも現実には
アニメみたいに
上手くないかなくて…

仲間として
付いてきてくれる事になった

戦士のエレスト

ま…勇者の
お手並み拝見って
とこだな

怪我したら
私が回復しますね

と…とりあえず
あの暴れてる
魔物を
倒しましょう！

ゴブリンです…！

僧侶のミーシャだ

でやー！

ダッダッ

キーン

…ッ！

危ない！



はあ!!

ガッ

ガッ



す…すごい…

魔物が一瞬で…



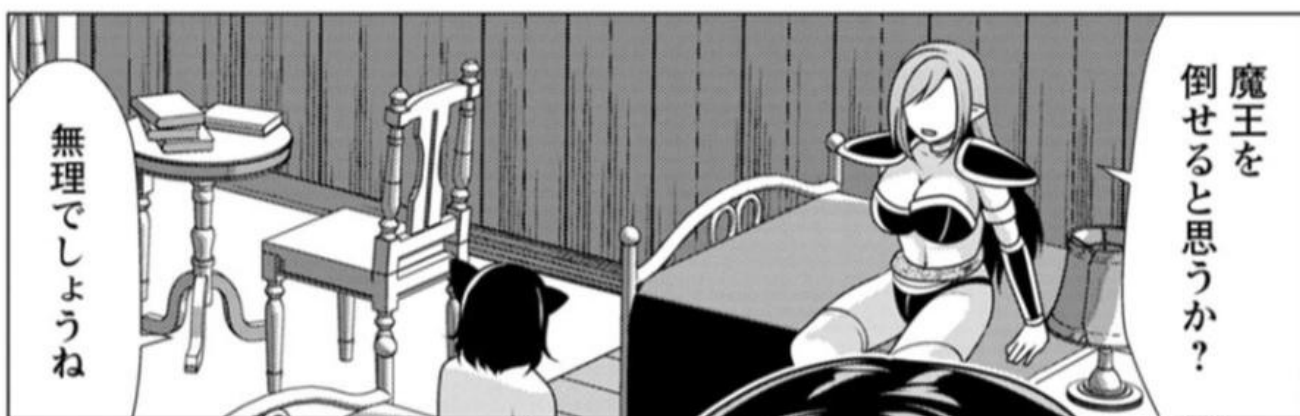
怪我はないか!?

気を付けて
くださいね

は…はい…

それからも
戦闘では二人に
頼ってばかりで

やっぱり俺に
勇者なんて
向いてない…





数か月後
俺たちは
魔王を倒した

その後
城で行われた宴で！…

ついに
やったな！

魔王を倒すなんて
本当に勇者さまは
すごいです！

いや
二人がいてくれた
おかげだよ

アタシがあの時
魔王にフェイントかけたのが
勇者の決め手に
繋がったんだよなあ

私が勇者さまに
攻撃力アップの魔法を
かけたからですよねえ

うん
あーん

ぎーっ！

まあまあ

……ところで
勇者はさあ

これから
どうするつもりなんだ？

元の世界に
戻るんですか？

あっちでは俺は
友達のいない
ただの就活生

誠に残念ではござ
今回はご期待に
なりました。訳ござ
大変申し
何卒ご了承くださ
お願いいたし

今後のご活躍を
お祈り申し上げます。

一層のご活躍と
お祈り申し上げます。

何度もお祈りメールを
もらう生活には
もう嫌気がさしていた

……
この世界で暮らすよ
君たちもいるしね

本当か!?

じゃあこれからも
一緒ですね
勇者さま

今後よろしくな
勇者

なぜか俺の記憶は
そこで途絶えている……



二人とも俺と同じように
宴の最中に気を失って

そこからの記憶は
ないらしい

…なるほど
ここが勇者さまの
住んでいる世界…

…あれ…

どうしてでしょう…
私…勇者さまを見たら…
身体が…熱く…

アタシも…

とろ…

えええ!!

このままでは
おかしくなって
しまいそうです

助けると思って
お願いします♡

抜け駆けすんなよ

アタシだって
身体が疼いて
仕方ねえんだ…♡



くはっ

くはっ

トロ

くはっ

そんなポーズされたからか
俺も身体が熱くなって……



あ……♡

ふあああああッ!

私の腔内……まで
届いて……♡



勇者さま……と
一つ……になれて……♡

夢みたい……です♡



本当に
入ってる……!

奥まで
絡みついてくる……!

やわらかいの……
奥まで

ダメだ！
腰が止まらない！！

んんん
んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

あ…っ！
すごい…

激しい…です
勇者さま♡

んんん
んんん

んんん…

ズン
ズン
ズン

あひいいいいッ！

初めてな…のに
おかし…くなくて
しま…い…そう…♡

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん



かっ

…次は…

スッポッ！

くちゅ

あ…っ！！

うあああああッ！
一気に…入って…！

スッポッ

スッポッ

スッポッ

スッポッ

あッ
ぐッ
スッポッ

あ…ちよ…っ

いきなり
はげし…すぎ
…だろ…！

はっ
はっ

おかし…く
な…



エレの方は
ミーシャより
キツくて

ズッ
ズッ

逃がさないようには
しごかれてるみたいだ

ズッ



奥まで突いて
おかしくしてやりたい……!

あ……あ……



アタシ……が
こんな……

感じる……なん……て……っ

んっ

すっ

本当……に
初めて……か?

とっ
すっ
ちゅん
とっ
すっ
ちゅん
とっ
すっ
ちゅん
とっ
すっ
ちゅん



んっ
すっ
すっ
すっ

おっ

あ……イイ!

も……も……

はー

はー

はー

はー

はー

はー

はー





バツ

バツ

無…の
ミ…
!!

勇…
勇者さまの…
!



はあ…

はあ

はあ

はあ

勇者さま…
…私…
幸せです…♡

…アタシも♡



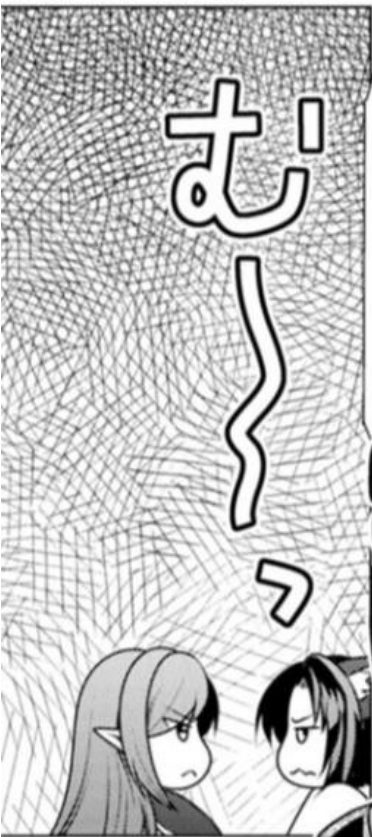
ようやく
身体の疼きは
収まったけど…

どうしていきなり
こっちに来たか
わからないんだね？

ああ

もちろん
帰る方法も
わかりません

…ですが！



む
く
っ

アタシと勇者は
魔王を倒した仲だしな！
ははは

私と勇者さまなら
どんな困難も
乗り越えられます！



むきー！！

私もいたでしょう！

ぎゃー
ぎゃー

お前だって
アタシを無視して…

…二人分の食費も
稼がないとな…

バイト増サニ…

こうして
俺と二人の生活が

このワンルームで
始まったのだった

・END・

いきなり異世界から
ミーシャとエシが
来たことにより

勇者さま!!

お!
帰ってきたか!?

情けないことに
過労で倒れて
しまった

勇者さま
こんなになるまで
お仕事を…

ちよつと働きすぎ
じゃないか?

バイトを増やした俺は

た…ただい…

ふらぁ…

勇者!!

勇者さま!!

ぼん

第2話 私にできること

でもこれくらい
働かないと
三人分の食費が…

ほら
聞きました!!

あなた
貴女が食べすぎなのが
いけないと!

お前らが
食べなさすぎなんだよ!

アタシは普通だ!

いいえ
食べすぎです!

アタシが食べすぎか
どうかは置いておいて

…そうだ!

アタシも働くよ!

一応勇者に
この世界の事
教えてもらったしな!

イけるだろ

え?

…という訳で

エレは
引越しのバイトを
始めた

様子を見に
来たけど

…意外と
なんとか
なるもんだな…

どういうカラクリかは
知らないけど

この世界の文字とかは
なぜか読めるように
なってたし

コミュニケーション
あればなんとかか…

……

すっ
ぱい



役立たずです

私は…

勇者さま…

ひた



得意だった回復魔法は
こちらでは
使えなくなってますし

エレのように
力があるわけでも
ない

何もできません…

バイトの面接に行っても
この耳のせいで
断られますし…



ガ
ー
ン

そっくら
コスプレは
ちよっと…



エレを食いしん坊と
責めましたけど

私の方が
勇者さまのお荷物で…

私は…

…私は…

…ミーシャ

す

く
く



エレにはエレの

ミーシャにはミーシャの
いいところがあるから

きっと何か
できることがあるよ

で…でも
私は…

回復魔法以外…
何も…

ゆっくりできることを
探していけばいいよ

…でも…!

今すぐじゃなくても
いいんだよ

大丈夫



そうか…

勇者さまも
できないことを
努力して…



ミーシャは
凄い人だから

きっとこっちでも
何でも
できるようになるよ

カチャ

まあ…
一番ダメなのは

二人を養うことすら
できない
俺なんだけど…

うう…

ええ!?

いきなり
ネガティブ!?

異世界じゃ勇者だったけど
こっちじゃただの
内定の無い学生だもんな…

ミーシャたちも
こんな俺と一緒にいるのは
嫌だよな…

そんな事
ありません!

勇者さまが
私を信じてくださると
同じように

私も
勇者さまは
何でもできるって

信じています!

ぎゅっ

ミーシャ…

…それに
勇者さまは
お優しい方です



他の人は見て見ぬフリを
していた奴隷の私を
助けてくれました



初めて
出会った時もー…



何も得には
ならないのに

自分が痛い目に会うと
わかっているのに

…だって
ミーシャが辛そう
だったから…

ええ



ただ
それだけです

彼女を
はなせ!!

それだけで
自分を犠牲にしてまで
私を助けてくださいました

他の人には
できない芸当です

だから私は

勇者さまが
好きなんですよ

で…でも

ミーシヤだって
あの後商人を
石で殴ってたじゃないか

あ…あれは
今がチャンスと
思ったから…!

勇者さまが
行動を起こして
くれなければ

私は何も
できませんでしたよ

そ…そうなの？

そうです！

そう…
あの時は



勇者さまが
この私に
興奮してくれた事です

は？

人間と亜人は
別の生き物ですから
そういう関係には
ならないのです

だからこの想いは
報われないと
思っていました

人間である勇者さまに
興奮していただけたのが
嬉しかったのです

…だから

これからもいっぱい
私に欲情してください

勇者さま♡

はあ♡

み…
ミーシャ…

彼女はすつと
悩んでいたんだ

それを少しでも
やわらげられるなら
俺は…

ふあ…
ああああッ！

はい
挿入って…
きた…ッ！
ああああッ！

ズッ
ズッ
ズッ

ッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

ズッ

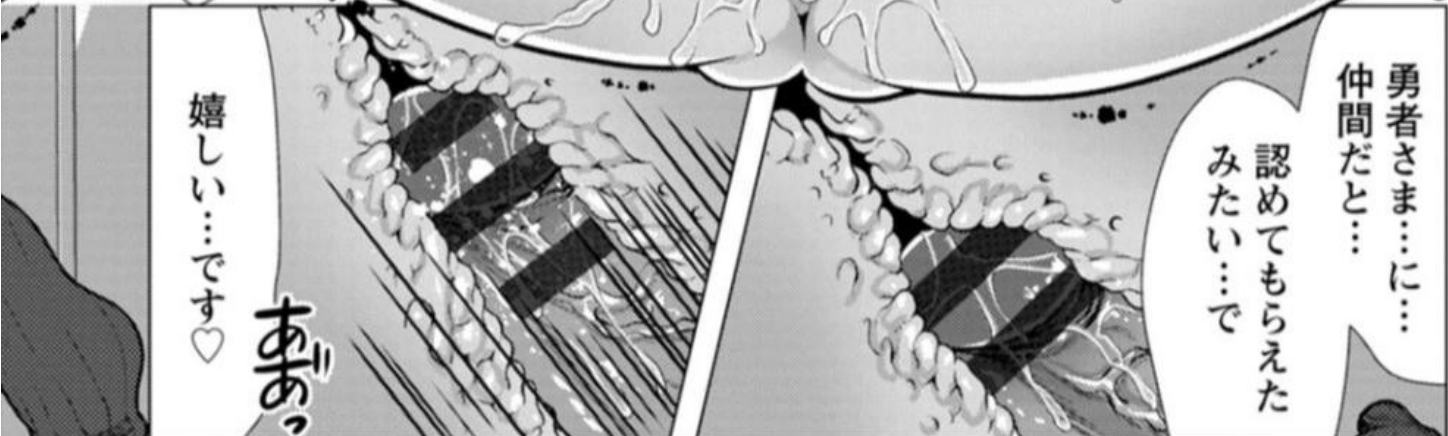




ああ…

また…
勇者さまと
一つになれました…♡

嬉しい…



勇者さま…に…
仲間だと…

認めてもらえた
みたい…で

嬉しい…です♡



ミーシャ…は…

向こうにいる時…から
仲間…だよ…!

勇者さま…!!

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あ♡



私…今
本当に…

幸せ…です

はあーはあー

はあ

あ

ふふあ

勇者…さま…

きゅん

あ…あの…っ

こっちで…も
一緒に…

いてください…
ます…か…?

はー
はー

たがたが

たがたが
たがたが
たがたが
たがたが
たがたが
たがたが
たがたが
たがたが
たがたが
たがたが

ああ…ッ！

ヒッ…ヒッ…

ずっと一緒に
いるよ…！

スズッ
スズッ
スズッ

ああ…ッ
嬉しい…です！

ぐちゅん
ぐちゅ

ああ

スズッ

あま
あま

ひううううッ！

スズッ
スズッ

スズッ
スズッ
スズッ

あま
あま

スズッ
スズッ
スズッ

どこへ…行っても…
一緒…に…
いた…いです♡

んっ

レッ

アッ

あっ

んあ

勇者さま…！

あああ

アッ
アッ
アッ

アッ

アッ

ぎゅう

ぎゅん

だ…だめだ…

ミーシャの膣内なかが
気持ち良すぎて…

腰が勝手に…っ

えっ!?

勇者さま…
はげし…い…ッ

ご…ごめん
俺…もう
我慢できなくて…

んあ

いい…ですよ

私…も…
もっとしたい…です

はー
はあ

もっと奥まで…
激しく…欲しい…!

スパーツ

スリッ

ミーシヤ……!

ずいぶん

あううううっ!

びびびび

嬉しい……です!

ああ

ずいぶん

あああ

ずいぶん

ずいぶん

ずいぶん

フルン

もっど……

もっどお……♡

んあ

奥……まで

ああ

んあ

はっはっ

ああ

はっ

はっはっ

はっはっ

勇者さま……を
感じ……たい……ですっ!

んああああっ!

フルン



気持ち良すぎて腰がしびれてきた...

はげしい...の好き...い

勇者さま...のがまた固...くなって...!!

あ...っ奥...当たって...っ

ごりゅごりゅ...ごすられ...て...っ!

このままなか...に...!

お腹の奥…まで
勇者さま…の
モノになっちゃ…っ！

もうダメ…ッ

ビク
あ
ビク

んあ

びく

びく

びく

…さけしー

!!!

ジュ

ジュ

ク

ク

ク





はい

ここでバイトを？



近所にブックカフェなんてあったんだ

ネコ耳メイドブックカフェ



私にはエレのような腕力はありません

だから
少しづつでも
何かできるように
したいと思っただけです



ここで
お客さんと雑談したり
本を読んだりして

この世界の知識を
もっと学んで

知力で勇者さまの
お役に立ちたいと
思います！

・END・

普通預金通帳

天沢 陸様

こ...
これは...!!

二人のおかげで
家計が
大助かりだよ!

ありがとう!

気にすんなよ

お役に立てて
嬉しいです!

...あ!

バイトの時間なので
私はこれで

第3話 強引なあいつ

ミーシャは出かけたが
勇者はどうする?

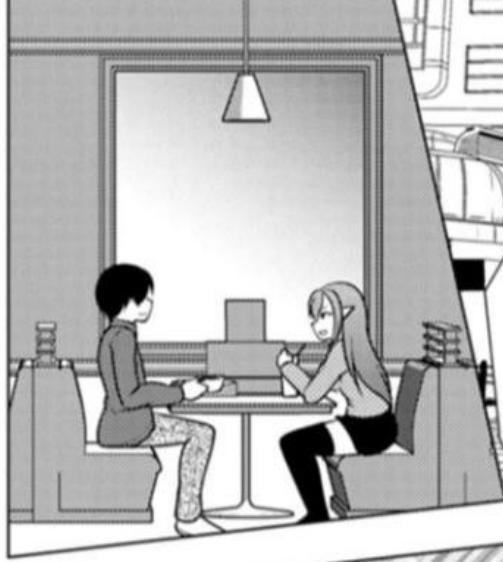
俺は今日は
バイト休みだし

特に予定はないよ

奇遇だな

アタシも
バイト休みだから...

にっかっ



一緒に
出かけるか！



うぎやっ！

エレ!!?



ぱん

次はこっちだ！



ちよ…ちよっと
エレ！

だ…大丈夫？



いたた…

これくらい
平気平気

今度はあつちの店
見に行こうぜ

ふふ
に

……エレ

怪我してるんだから
帰るぞ!

え……でも
歩けるって

無理しちや
ダメだよ

……わかったよ

……押しが弱そうに見えて

おぶつてあげるから

ええ!?

実は強引なんだよなあ……

あっちにいた頃も…

いませんねえ…

洞窟に村のお子さんが
迷い込んだって
言ってたのに

入れ違いで
帰ったんじゃないか？

子供の足では
こんな奥まで
これねーよ

モンスターも
ニメシに…

すた

すた

すた

いったん
帰りましょー？

入れ違いで
帰ったなら
いいけど

もしもつと奥に
いたら…!!

つがやまのたむろく
エレとミーシャは
先に戻っていいよ

俺一人で
探しておくから



洞窟まで
来たのだ

それなのに
村の子供の
搜索を引き受けて



あの時アタシ達は
モンスター討伐の
依頼をこなした後で

とても疲れていた



しょうがねーな
付き合っつてやるよ

ええ
一緒に探しましょう

それでも彼は
そんな事は表に出さずに
搜索を続けるつもりだった

戦い慣れていないから
一番疲れているのは
勇者なのに



最後に一つだけ
行きたい所が
あってさ



え？
何が!?



誰かを助ける為なら
いつもより強引になる……

変わらねーな
お前は



ひろーい!!

ラブホテル!?



…行きたい所って…



じゃ
この場にあった
休憩しよっか

カッパ



いやそういう
休憩じゃないんじや
ないかな…

料金表
ご休憩(2時間) ¥40
ご宿泊(夜10時~) ¥10



入口に
休憩って書いてあったし
ちようどいいだろ



…エレ!?

こっちの世界の事も
わかってきてるんだよ

ここはエッチな事
する所なんだろ?



勇者も
やる気じゃねーか

さめ

おかしい

異世界でも
迫られたことは
あった

その時は
我慢できたのに…

え…っ!?

さわ

カカ

何だって!!

アイツ
アタシには
抜け駆けするなとか
言っておいて

自分はやってたのかよ!?

はあ

はあ

くっ

くっ

…こうなったら…

かっはっ

エレ?





ミーシヤより
アタシの方が
気持ちイイって

勇者に
わからせてやる!

なっ!?



あ...す...っ
はっ
カッ
スッ
スッ
ちゅ
ちゅ

自分で…
動く…の…

思ったより…
気持ち…い…いっ!

腰…止まらな…っ!

もっと…奥…まで
入れたい…っ♥

ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん

激しく動かされてるのに
更に膣内^{なか}がキツくて…!

ぎゅん

ぎゅん

んんん

もう
我慢できな…!

がっ

ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん



え...!?

ズンズンズン

え...!?

好きなの!!

もっと自分の好きなのように突きたい!!

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

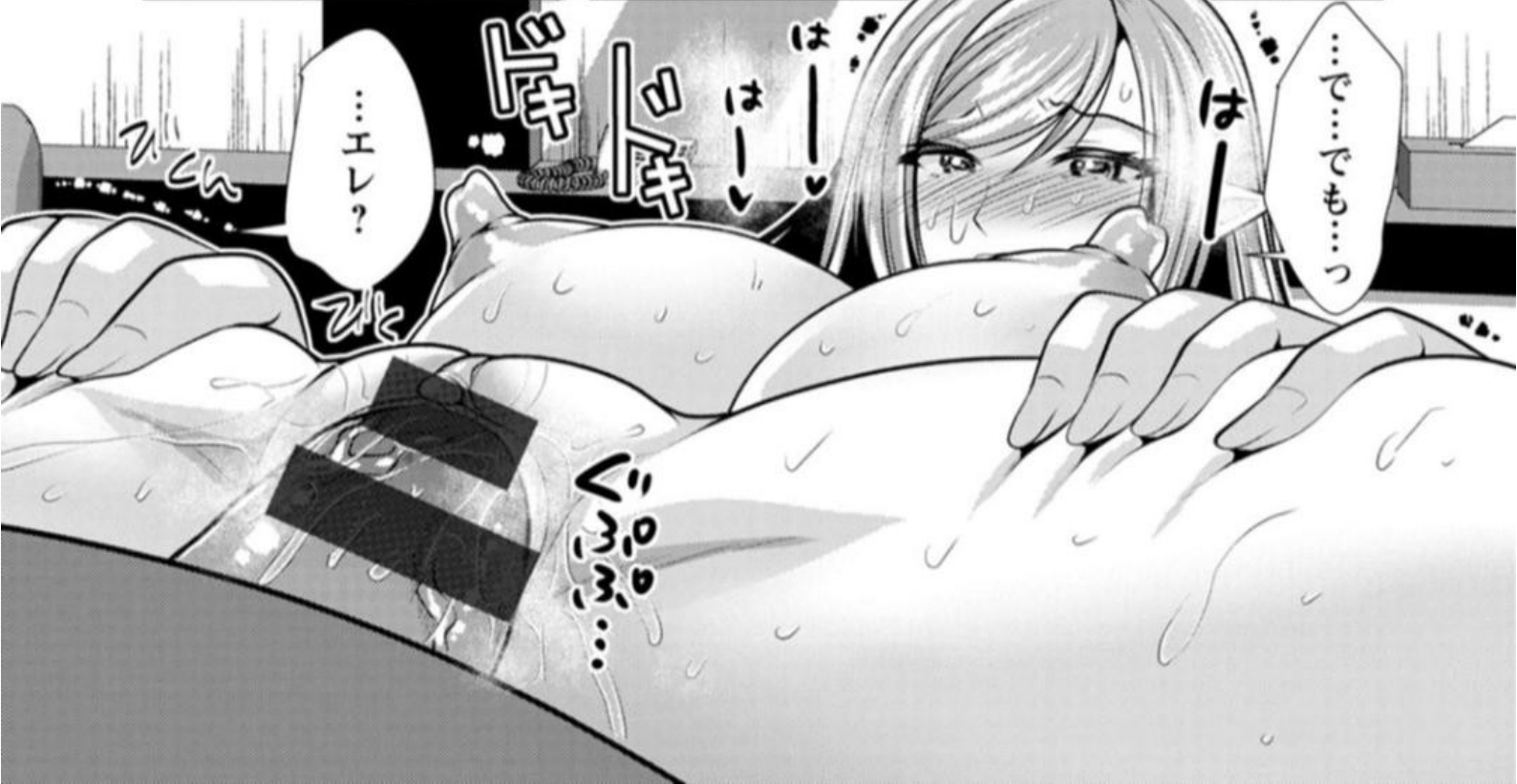
ズンズンズン



あ...ちよ...っ
はげしすぎ...ッ

そういう...強引...なとこ
嫌い...じゃ...ない...けど...お

むしろ...好き...い



...でも...っ

...エレ?

ズキズキ...



…あ…あの
感じてる顔…
見られる…の…
恥ずか…しい…

でもさつきは
自分から…



じ…自分でやるのと
やられるのは

違うんだよ…!



だ…だから
その…

そんなに激しくは
しない…で…

…んんっ!

そんな事
言ってるくせに
感じてるじゃないか

あぁあッ

だ…めえ…っ!

乳首…は
よわ…い…の…に…♡

あわらううんー

んあぁ

あ…
あああああッ!

あ…ん

まわ

あ

ふに

むい

ふ

水

こ

は

は

水

水

水



奥まで
ずぼずぼってえ…っ

スッスッ

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ダメ…っ

おかし…くな…っ

ああ



すっすっ

ふふふ

ちゅ

ちゅ

はあ
はっ

あっ

膣内…と乳首っ

一緒に…
せめられ…たら…

ふふ

だめに…なるう…っ ♡

すっすっ
すっすっ

ふふふ



更にキツくなった…!

スッスッ

ちゅちゅちゅちゅ

びび

あ…っ

ちゅ

びび



こっちに来てから
性欲が抑えきれない
気がするんだよな！

エレも!?

ってことは
勇者も!?



…実はさ



ミーシャ
おかえり

凄いものを
バイト先で
見つけました！

?



勇者さま！



あちらの世界の
言語で書かれた本です

これなのですが…

いんじふてん
いんじふてんいんじふてん

いんじふてん
いんじふてんいんじふてん

異世界語の本が
こっちに!?

•END•

異世界語の本……

いつたいたになにか
書かれていますんだ？



私もまだ読んで
いなくて……

読んでくれよ

……では……



「現在
二つの世界を転移すると

体は多大な影響を
受ける

その影響とは
性欲の異常な高まりだ」

ええええええ！

第4話 俺にあるもの

「なぜならば
それは……」

ここで終わっています
あとは

まじろ〜

おいおい
そこで終わりかよ

……「現在」ってことは
昔は違ったってことか……？





…それはどうして

なぜ途中で
文章が途切れているのか
その後には
何が書かれていたのか

異様に性欲が
高まっていたの

気のせいじゃ
なかったのか…!



こんなの書いても
どうせ俺なんて…

就活の為の
履歴書…

履歴書

天沢

…

小さい頃から
人より出来る事なんて
何もなかった

何もできない
誰にも好かれない

頑張る理由もない

…そう思って
生きていた

…そんなあの日
異世界に召喚された





そんな甘い話は
なかった

…と期待したが

アニメみたいに
チート能力でも
あるのか!?



勇者様!
魔王を倒して
世界を救って……!

人に頼られるのは
初めてだった



…が
勇者様

結局自分は
住む世界が違っても
何もできない
…という事実を
突きつけられて
しまった



勇者様!
頼りにしています!



あの人たちの
期待に応えたい

このままじゃ
どうせ何もできないんだ

ダメでもともと

頑張ってみよう！…

ここは現実じゃない
異世界なんだ



努力してみたら
何か変わるかも！…

そうして俺は
魔王を倒した
勇者になった！…



あーん

現実世界に戻って
きてしまった

異世界で頑張った事は
こっちでは何の役にも
立たない

大学時代
何をしましたか？

異世界の魔王を
倒しました！

なんて

言えない…

免許・資格

趣味・特技

結局俺は
何もできない自分の
ままだった

…ただいまー

かきや

おかえりなさい
勇者さま

やっと
帰ってきたか
勇者



え...
二人とも...

その服装は!?



勇者さまの
高まっている性欲を
満たすため

お小遣いははたいて
買ってきました♡

いつも世話に
なってるからさ

礼だよ



勇者

勇者さま

アタシたち
したくてたまらないんだ

いれて
ください…♡

お女♡
お女♡

ヒリ
クワッ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



転移の影響で
性欲が
高まっているから
我慢なんて！



できない...！



勇者さまの...
はいつて...るう...っ♡

じゅぶじゅぶ
されて...
嬉しい...！



キュッ

うわ…すごい…

キュッ

入れたばかりなのに
もう膣内が奥まで
トロトロだ…!

ぱんっん

んん

んん

ぱんっん

ぱんっん

転移の影響で
性欲が
高まっているから…!?



ぱんっん

ああああっ!



興奮が止まらない…!

ふあ…♡

んん

んん

ふああああっ!
はげし…い♡

んん

んん

んん



だめ...で...すう...

おかし...く
なっひや...いそう...

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

ズゴ

ズゴ

ズゴ
ズゴッ
ズゴ

あゝあゝあゝ!!

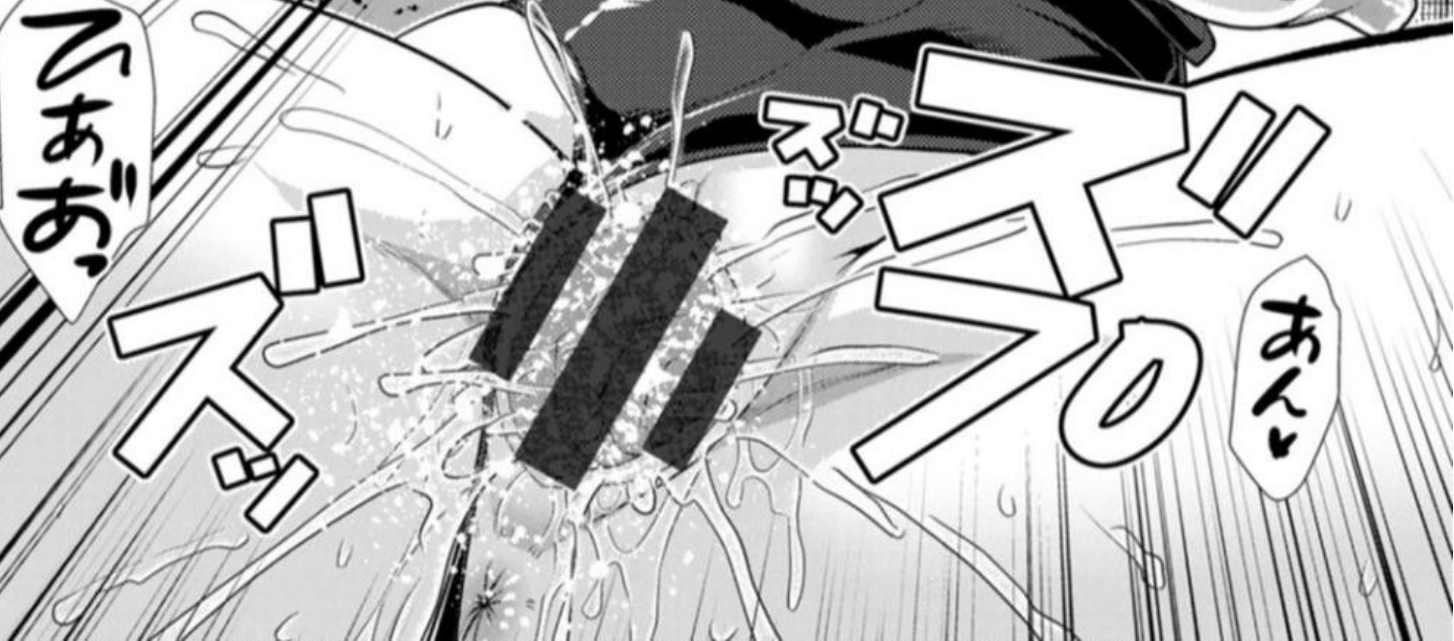
アタシにも...
してくれよ

あゝあゝ...
勇者

ズゴ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ



あ...♡

はあ...
はあ...
はあ...

す!!

はあ

はあ

あ...
あ...

あ...
あ...

ふああああつ!

アタシにも
はいつて...え...ツ!

エレも
凄く濡れてる

あ...

ズッ

ズッ

ズッ

あ...

しかも締め付けが
キツくて

逃げられないみたいだ…!

んあ

あ…すごい…いつ

おっきいの…
はいってる…ッ

あ…

ふあ…
やだ…何で
抜いて…

あ…いきな…り
奥ううううッ!!

だめだ…!
気持ち良すぎて
もう止められない…!

はげし…すぎ…
好き…♡

はー♡
もっと…もっとお…

はあ

はあ





入ったり…出たり…
おかしく…なるう…っ

お腹の奥…
入って…♡

ズグ

ズグズグ

ズグ

んあ

んあ

んあ

んあ

んあ



あひいいいいッ!!

交互に…なんて
変に…なっひや…ッ

もう…
勇者さまの事…しか
考えられな…

んあ

んあ

んあ

んあ

んあ

んあ

んあ

俺も…もう
おかしく
なりそうだ…!

んあ

ふああああッ!



んあ

んあ

んあ

んあ

んあ

んあ



熱いの…
ジュジュジュジュジュジュジュジュ〜

ジュジュジュジュジュジュジュジュ〜



おかしい…
全然おさまらない…

ガクガク

はー
はー

…勇者さま

もう一回
してください♡

アタシにも♡

あ…ああ



二人で一緒に
プレゼントとして
買ったのは
こっちなんです

さっきの
コスプレは!!



こっちが本当の
プレゼントです

はい!



コスプレは
エレを出し抜こうと
買ってきたのですが…

ミーシヤに勝とうと
内緒で買ってきたのに…

…張り合おうとして
偶然同じことしたんだ…
考えることが同じ…

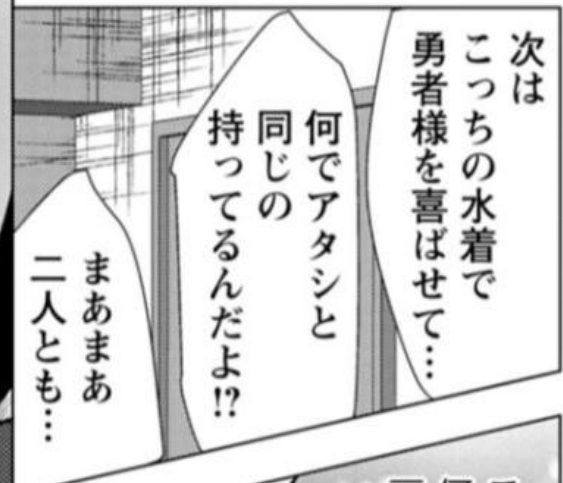


ここまで自分の事を
想ってくれている二人の為なら

でも

また
頑張れるかも
しれない…
ケニカは
十あて
ほし…

・END・



次は
こっちの水着で
勇者様を喜ばせて…

何でアタシと
同じの
持ってるんだよ!!

まあまあ
二人とも…



こっちに戻って来て
何も無い自分に
戻った…と思ってたけど

この二人の為なら



また落とされるかもしれないけど
諦めずに
頑張ろう!

ようー!

履歴書
できた!

ミーシャとエレの為に!

第5話 努力の才能



…そういえば
二人はずっとこっちに
いられるんだろうか

あ!
あまさわ
天沢くん

教授

はい
これこの前の
レポート

すっ

ありがとうございます
ございます

今回も
いい文章だったよ

いい文章…?

就職活動も
頑張りなさい



ただいまー

あれ
ミーシャだけ？

何いねん...

エレはバイトが
長引いているそうです

私はバイトで使う
資料を作ってます

もうそんなに
パソコン使えるように
なったの!?

凄いよ!

あ...
ありがとう
ございます...



小さい頃…

小さい頃から
そういう才能が
あったの？



魔法
解除

知識

それにしても

ミーシャは
何でもすぐ習得して
できるようになるよね



奴隷生活は
過酷でした



私は…小さい頃
一族を殺されて

奴隷に
なった身です



あちらの世界の
奴隷は

遊びで殺されるか

労働力として
酷使されるか…です



マスターの
言う事ができなければ
鞭でぶたれました

私はそれから
逃れる為

言われた事は
一度で覚え

ごきなど

ぶたれる...

出来ないことは
出来るよう

毎日こっそり
練習していました



言われたことが
できても

マスターの
機嫌が悪いと
ぶたれるん
ですけど

あはは

ご...ごめん



何でも出来るのは
才能じゃなくて

努力の成果
だったんだね



ミーシャが
奴隷だった事
忘れてた

無神経だった

...それと



それだけ努力できる
ミーシャは
凄いよ!

……勇者さま……



そんな風に
褒められたのは
初めてです

あれ...?



辛い事を
思い出させて
ごめん...!

す...すみません...

もう平気だと
思ってたんですけど...

...あ...

はあ
はあ



あ…

す…



んら…

す

す

ん…

す

す

んん…



ひびく…

ん
ん

あ…
ミーシャ…
もう濡れて…

す

す

はあ

は……

……ミーシャ

何で上に
乗ってるんだ？

は——っ

うふふふ♡

は——っ

ふん

は——っ

ふん

ありがとうございます
勇者さま

おかげで
落ち着きました

は——っ

は——っ

あ……
ああ……

これから
えっちしちゃう
からです♡

は——っ

は——っ

この体勢の
理由にはなってな……

……それは

ええ!?

何で!?

くちゅ……

さわっ

私…いっただけでは
満足…できなく…て…

勇者さま…のが
…欲しくて…え

あああああ!!

くちゅ

くちゅ…

ブル
ブル

で…でも
さっきあんなに
震えてたし…

ズレ…ズレ

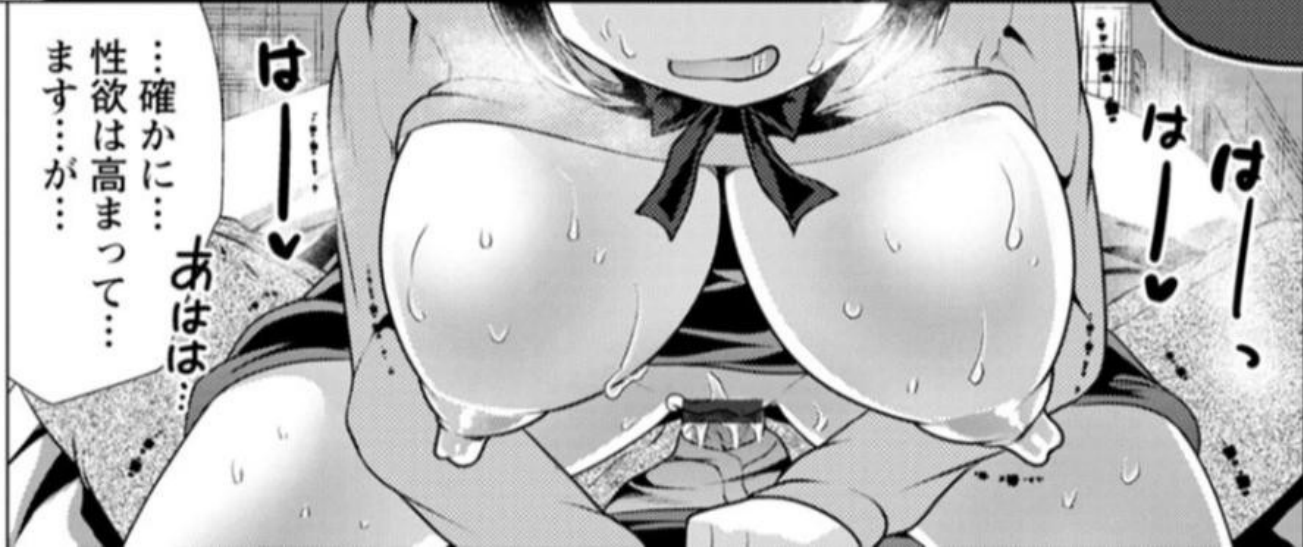
とつ

とつ

転移の影響で
性欲が高まっている
とはいえ

今…は…
やめた…方が

ズレ





だか……ら……
勇者さま……にも

はあ

はっ

あひっ

私……は心から……

んあっ

えあっ

あっ



んんっ!
ぐぢゅんっ
ズッ

びん



はっ

私としたい……って
思っ……て……ほしい……
……です……

できれ……ば
ずっ……と……一……緒……に……

はあ

はっ

はっ

はあ

んん

びん

貴方……と
したくて……

してる……ん……です……♡

ずっ

ズッ
ズッ
ズッ

ずっ
ズッ
ズッ



ミーシャに
悲しい顔は
させたくない！

あ…ん…っ

ほーびく

大丈夫

はびく

俺はミーシャと
したいと思ってるし

一緒にいたいと
思ってるよ

びく



俺に
できることは…

…だから…

アムン

ビッ

びく

彼女に気持ちよく
なってもらおう事…!

ズッ

ズッ

ズッ

あ…からここッ…

あッ

あッ
あッ

ズッ

あ…抜いちや…
やだ…あ…

ぬッ…

ふああああッ

ずッ

ずッ

はげし…すぎ…

うれしい…です♡

ずッ
ずッ
ずッ

あッ

あッ

ずッ

ずッ

嫌な事は全部忘れてほしい……!

このま……ま……
ずっと……一緒……に……ッ

勇者……さま……ッ

最後……まで……
このま……ま……

もう……おかし……く
なっちゃ……ッ!

離れないで……ッ!

あ……あ……

あ……あ……

あ……あ……

あ……あ……

あ……あ……

ぬ……ぶ……

ど……ど……

と……と……

と……と……

ズ……ズ……

なか
腔内が
とろけて…!

俺…もう
限界…だ…ッ

私…も
頭が…真っ白…に
なりそ…っ

なか
腔内…に
熱い…のでて…

いつちや…っ
あああああッ!

びゅるっ

びゅる

びゅる

びゅる





勇者さまのお役に
立てるよう

努力しますね♡



これからも
様々な事で



…読ませて
もらいますね

はさっ

文章が上手いって
言われたんだけど
どう思う？



俺もミーシャの役に
立てるようになりた…

…つと
そうだ！

かた

ふん



もっと長い文章を
書いてみては
どうでしょうか

小説とか…



確かに…
これは読みやすくして…



…勇者さま

今日は
バイト休み？

ああ

勇者やミーシャが
読んでるから
自分も…って
思ったんだけど…

むずかしい…

本
読んでるなんて
珍しいね



第6話 私の学び

無理して
読まなくても
いいんじゃない？

でもさー

最近二人とも
いろいろ
がんばってるだろ？

だからアタシも
何かやりたいな…って
思ってるさ





アタシはさ
森の中の村で
育ったんだけど

子供のころから
戦士として
育てられて
たんだ

毎日毎日
剣の修行

戦う事以外は
知らなかったし

知らなくても
いいって
思ってた

…でもさ
勇者たちを見てたら
それじゃ
いけないのかなって





言わせんなよ…
恥ずかしい…



お前たち
二人の仲に
嫉妬した
っていうか…
自分も会話に
加わりたいて
いうか…

もじ

もじ



あーもう！



はい！



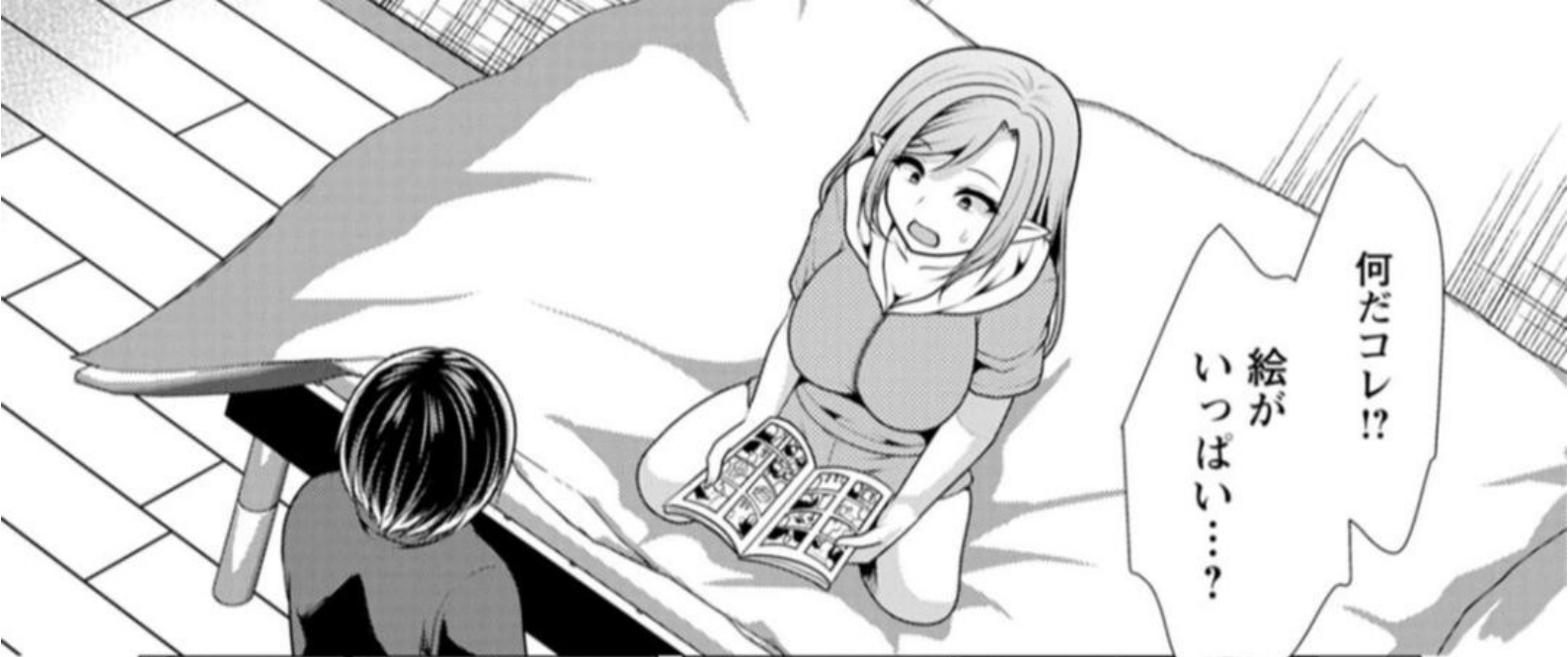
…でもいきなり
本はハードル
高いんじゃない…

ゴツ

あ！！

ゴツ

ゴツ



何だコレ!?

絵が
いっぱい……?



漫画だよ

絵が付いてる方が
読みやすいかなって

読み方は
教えるから

勇者
ありがとな



どうした?

……ん?

これ…

なんか
エロい…

！！

これと同じ事
してみよっか♡

まあまあ、

間違つて
エロ漫画まで
渡してた——！

ええ!!

こういうのが
好きなのか

そ…その本は
間違い…で…
見ないで…



早く横になって！

うわあ!!

♡

しゅん

しゅん

ガッ

しゅん

しゅん



嫌なのか？

…嫌…じゃないです…



うわいけい

かあ

あ…あのエレ…
こういうのは…
ちよつと…

しゅん

しゅん

ズキ
ズキ

本当にこれが
好きなんだな

しよ…
しようが
ないだろ…

ああ
別にいいよ

この趣味

アタシたちだけの
秘密な♡

しゅん
しゅん
しゅん

しゅん
しゅん
しゅん

あ…そんな…
はげし…く
ぐあ

された…ら…ッ!

ニッコ
ニッコ
ニッコ



んんっ!!

イク…!!

ドュッ

ドュクッ

あくあ

せつかくの
精液が…

…え…?

へっ
3っ



かあッ

アタシで
イってくれたのは
嬉しいけどな



え…エレ…？

足に出すの
もつたいないと
思わないか？



それにアタシも
固くておっきいの
に触れてたら

するるっ

我慢できなく
なってきたし

次はこっちに
いっばい
もらうからな



カリッぱっ

…だからさ

くちゅ…





女…に
乗られる…の

好き…
なんだろ…?

い…いや…
そういう…訳じゃ…

この方…が…
奥まで…
届く…だろ…?

嘘…ばっかり…!

ひうっ!!



こういうの
好きだなんて
知らなかったなく

恥ずかしくて
言い出せなかったのか?

アタシはいくらでも
勇者の好みに
合わせられるのに

このまま
エシの好きなように
されるのは…!

え…っ!!



はーはーはー

俺は...その...
そういうのだけが
好きなん...じゃ...
ない...からな...!

あゝあゝあゝ!!

いきなり
どうし...!?

ズッ
ズッ
ズッ

あんまり
調子に乗っていると...

え...

ゴリユル

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



あわ…っ…



おっ
びび

ちよ…つとど…
はげし…すぎ…ッ



あ…
ああ!?

おかし…く
なっちや…ッ



あ…
ああ!?



あ...
え!?

はずかし...い...っ

ここじゃ
外の人...に
見られ...っ

んあ

せめて
ベッド...で...っ

あっ

駄目

すっ
30んっ

びく
あーっ
ひるああッ!

ほっ
ほっ

ほっ
ほっ

びく

あっ
んあっ

さつき調子に
乗ってた罰

んっ

そんなあ...っ

びく

びく



ズッ
ズッ

あッ

ズッ

あッ

んあッ

あ…ああ…
見られちゃうよお…

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ



ぢゅんん

ああああッ!

さつきまで…より
感じ…て…

見られ
ちゃう…のに…
アタシ…

あッ



もっと…されたく
なっちゃった…よお…っ!!

あ…あ…

はー

はー

見られるかも…って
思いながら…
する…の…

気持ち…
いい…ッ!

はー



あ...

あ...ひ...ッ

好き...ッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

これ...だけ
じゃな...く...ッ

これ好きい...

あ...

あ...



何でも好き...ッ!

ズッ

勇者に...
される事
...なら

ズッ

あ...



もっともっと...
これから...も

あ...ッ!

アタシ...と一緒に...
気持ちよく...
なってほし...

あ...

ななか
腔内で
おつきく...!?

ズッ

ズッ

ズッ

あ...

あ...

あ...

駄目…
もう…無理い…っ

イ…っちや…ッ!

ガ

ガク

てんてん

あ

て

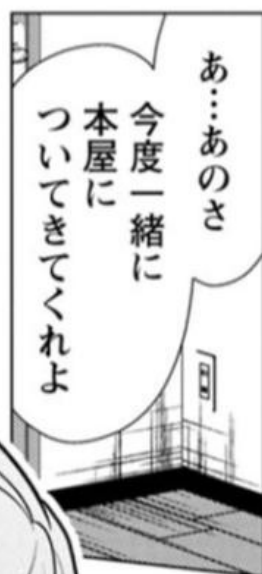
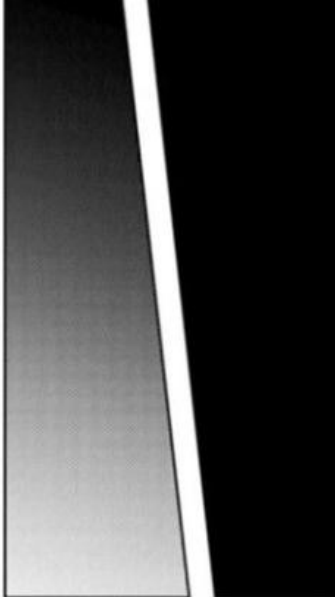
熱い…の
な
腔内…に
で…っ

インインインイン!!!

ビュウッ
ビュウッ
ビュウッ

水









異世界で
やったように
こっちの世界でも
誰かの役に
立てるように
なりたい！…

…ッ!?



いきなり
ぶつかって
きた…!?

いたた…

えええええ
近い…



…あ…あの
どこかで
会いました…か…?

…貴方

わたくしに
ついてきて
ください！

え……えええ!!?

あ……あの……?

な……
何なんだ
この人——!?

我慢しないと……
いけない……のに……

は——
は——

でも……
もう今更だし

我慢しなくても
いい……か……

びんぽんぽん

うわ!!

のろっ



とびやうに!?

ド
ユ
ル
ツツ

イク...!!



カ
ハ
ッ

わたくしも
我慢できなく
なりました♡

...あ...あの
俺はこの辺で...

帰ります...

これほど...
なんて...

え...は!?



こんなの…
初めて…ッ

は…あ…
すっ…っ

あゝ

あゝ



このまま
動かれたら
すぐにでも…

はあ

はあ



っ!?



次は
動きますね…!

あ…ちよ…
やめ…っ

ずっずっ
ずっずっ
ずっずっ

激したわね…

んんっ！

ズッ
ズッ
ズッ

んんっ

あらあら…
興奮…してる
みたい…

…このまま…
イって…も
いいんですよ？

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ぐわ…っ！

ああ…っ！

ほわん

ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ほろほろ♡

ほろ♡

ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ

ズッ

…わたくしが
満足する…まで

付き合って…♡

んあっ
んあ

んあ
んあ
んあ

んあ
んあ
んあ

ああ…♡

はあ
はあ

あ

本当に
きもち…いい…っ

はっ
はっ

んあ
んあ
んあ

性欲が高まるの…も
いいです…わね…っ

んあ

このまま
この人にいいように
されるのは…

んあ
んあ
んあ

んあ

さっきまでより
濡れてきた...?

はあ...
あ...

...なら
もっと激しくすれば...

あひいういッ!

はあ...
はあ...
はあ...

あ...あ...あ...

ああ...ダメだ!

もっと激しく
したい...!





こんな…の
駄目…なの…に

ズッ!!

感じちゃ…ツ!

カクカクカクカク!



ここま…で
されたら…あ

あなた…の事…しか
考え…られな…く…

カクカクカクカク!

ズッ!!



いい...ッ!
いいよお...っ

ふああああつ!

スッ
ッ

あ...
ふあ...
はあ...
はあ...
ああ...
ひ...っ

さつき...まで...
より...

奥...はいつて...
突かれ...て...

ふひあああつ!!

どちゅん
どちゅん

あ、あ、あ、あ
あ、あ、あ、あ

もう……っ
変に……なりそう……っ

あっ

えあっ



……ミミミミミミミミ……

あま
んあ

あま
あ

あま
あ

あま
あ

もう……駄目……っ

限界……ッ!

はあ

はっ

あたま……
まっしろ……に
なっちゃ……っ

あま
あ

はっ

あま
あ



な
か
腔内……に
だし……て……ッ

……熱いの……
だされ……て

……イミッげき……

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ





あ——!

やりませんよ…

もう一回
やりませんか?!

え~~~~~?

ぎゅっ

あの…そろそろ
離して
もらえませんか…



あら〜

エレとミーシャじゃ
ないですかー

賢者さま!!

ここに
いたんですね

タタッ

勇者!



帰ってこないから
心配して…

あ!?



賢者……？

……って……異世界に
俺を召喚した賢者か……!?

皆さんに
伝えたいことが
あつて
きたのですよ

じゃあ
さつさと
伝えにくれば
よかつたじゃないか

え……？

む

……実は

魔王が
復活したのです

何で!?

魔王は勇者さまが
倒したはずでは!?

……俺が……
異世界でやった事……は

無駄だった……って
事か……？

・END・

魔王が復活した……!?

魔王は倒される間に

貴方たちに二つの魔法をかけていました

第8話 絶望と信頼と

一つ目は世界を移動した者の性欲が高まる魔法

二つ目はその性欲に負けてセックスすると

魔王が復活する魔法です

それについて書いた本を

そちらに転送したのですが無駄でしたね…

あ…あの本は賢者さまが…

だって途中までしか読めなかったし…

…魔王が復活したのは俺のせい

唯一俺が
成し遂げたと
言ってもいい
魔王討伐

か?

か?

それが無駄に
なっってしまった…

大丈夫ですよ
勇者さま!

一度
倒せた相手です

何度でも
倒せますよ!

おう!
アタシも
また一緒に
戦うぜ!

もう一度
アイツを
倒すなんて
できない!…

…ごめん
…俺には…
無理だ…



その後
賢者は逃げるように
どこかに出かけた

この空気が
たえず...
ない...

えく...と...

ちょっと
でかけますねー



勇者
元気出せよ

今日の夕飯は
アタシの奢りに
するからさ

いえいえ
私が勇者さまの
好物を作りますよ
何がいいですか？



...どうせ俺には
何もできないんだ

ほろっ

そんな事
ねーよ!


お前は魔王を
倒したじゃないか!

あつちの世界を
救ってください
ました

...でも!




全部
無駄だったじゃ
ないか！




エレもミーシャも
そのうち
何もできない
俺を見捨てて！…

違う！



お前を
見捨てなんて
しない！



私は
勇者さまの為なら
何でもします！

魔王の魔法のせいで
性欲が…とか

今回に限っては
それは言い訳だ

…じゃあ

ド
ザッ

え…
勇者…さま…？

いきなり
何だ…？

俺の苛立ちを
二人にぶつけた
だけなのだから…

わからないわけ
ないだろ…！

ほんっ

ふうっ!!

ビクッ

ギリッ



ズン

何度もしてらんだから...!

はっ

ズン

ふあああアツ!



奥...までっ
はいつて...ツ!!

はっ
はっ
はっ



あゝ

どぎゅん

わかってるのに俺は衝動を抑えられなくて

どぎゅん



いき...なりりいれるなんて...ツ!

はっ
はあ



どっかん

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

はげし...すぎ...

...いつもの...
勇者さま...
じゃない...

あゝ

ん

ん

ん

...でも
私は...

...でも...

はあ
はっ

んあ

ズンズン

勇者さま…が
したい事…なら

私…は…
嬉しい…です…っ

あぁっ

あぁっ

ミーシヤ…!

んっ

んっ

ズッ

勇者さま…っ
そこ…だめ…っ

ごりゅ…ごりゅ…っ
こすられ…てえ…ッ

ズッ

ズッ

んっ
あぁっ

決して自分を
拒絶しない

優しい二人に
甘えていた



ズッ

ドゥッ
ドゥッ

…



ふあ...ッ

！！！！！！！！！！！！！！！！

はあッ
ああッ

んあ
ああッ

す...い...ッ

こんな...
おつきい...

なんて...ッ

スッ

普段より
かたい...ッ!

あああッ!

ああッ

お腹...の奥...
ぶつかって...ッ!

はあ
はあ



私にも
また...♡

はあ

はあ

はあ

はあ

あ...ああ...

んんッ!?

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

はっ

はっ

アタシも♡

スグッ

はー

はー

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

これ...で...三人で
楽しめ...ます...ね♡

ミーシャが
顔の上に乗って...!?

ぬっ
ぬっ
ぬっ

ぬっ
ぬっ
ぬっ



むわ…っ

目の前に
出されたら…

はあ
はあ

なか
まで
舐めたくなる…!

ぐちゃっ

ひやあああッ!?

ぐちゃっ



ふん

あ

ぐんぐん

すご…く
イイ…
です…♡

もっと
舐めて…

あ

…こっち…も…

あ

ぐんぐん

あ

気持ちイイ…!

ぐんぐん

どん

また…
おつきくなって…

あ

あ

おつきまでよい
キツくなってきた!

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ああ…俺も
もう限界…だ…!

いつちやう…っ
イク…イクツ

熱いの…
で…ッ!

!!!

このまま…
三人で…

はあ
はっ

一緒に…
いられば…

俺は…
それだけで…

きゅ…

はあ

はあ

…ロク

魔王復活の事など
忘れたかのように

何事もなく
数日が過ぎた

ただい…ま…

カチカ

…って

二人とも
その恰好は!?

戦闘用の装備だ

向こうの世界で
着てた服ですね

賢者さまに
聞いたんです

向こうの世界に
帰る方法を
知っている

向こうの世界!?

帰る!?

二人で
話し合ってたさ

自分たちの
世界の事は

自分たちで
ケリをつけたい
…って思ったんだ

…だから

勇者さまに
頼らず

私たちで
復活した魔王を
倒そうと思います

な…!?

一度
倒したんだ
何とかなるだろ

賢者さまにも
付き合っ
てもらいましょ

俺を見捨てない…って
A言ってたのに…

一緒にいたいって…
思ったのに…

勇者さま

私たちの世界を
一度救ってくれて

ありがとうございます
ございました

勇者は何も
できないヤツ
なんかじゃない

アタシたちを
幸せにして
くれたよ

この二人で
魔王を倒す…!?

不可能だ

あの時

あんなに

苦労したのに…

死んでしまう

かもしれない

俺がいたとしても
勝てるとは思えない

でもだからといって
俺にできることは
何も…

賢者さま!!

ただいま

ビッグニュースですよ

カッ

・END・



じゃあ
どこに……？

実は
魔王が復活したのは
わかったのですが
あつちの世界には
いなかったんですよ



ビッグニュース……？



異世界じゃなくて!?

魔王は
こつちの世界にいます

最終話 みんなでひとつに

わたくしが
この世界に来たのは
魔王をあつちに
連れ帰るため
なんですよ

まだ封印が完全に
解けていないのか
魔王の魔力は
かなり微量で
詳細な場所を
検知できなくて……

そしてどうやら
わたくしたちの
魔力は
魔王の復活具合と
連動してる
みたいですよ

……だから

魔王の封印を
あとちよつと
ゆるめるために

セックス
しましろう！

封印が弱まったら
完全に復活して
しまうんじゃない？

わたくしが検知できる
ぐらいまでなら
悪さはできませんね

せいぜい寝ぐせが
治りにくくなる魔法が
使える程度でしょう

…何その魔法…



お前のも
ないけどな

勇者さまは
私のモノです

賢者さまとはいえ
譲れません



…というわけで
早速…♡

…待って
ください



4人でするなら
問題なくないですか？

4人!?



ま…まあ
私もできるなら…

いい具合に
性欲が高まって
いますね〜

わたくしきびす〜

勇者さまも…
でしょう？



勇者さまも
もう
こんなになん

うわ…っ!!

ぎゅっ
はっ

凄く…
固い…♡

3人が
同時に…!?



みんなの舌と唇が
絡みついてくる…!

んっ

んっ

んっ

ちゅっ

ちゅっ

んっ

んっ
んっ



あ...ぐ...っ

びくびく

びん

びくびく

びくびく

びくびく

びくびく

びん

びん

びん

びん

びん

びん

3人にされたら
すぐに限界に
なる...

これ以上...は...
もう...っっ!!

びん

びん

びん

びん

びくびく

...勇者さま...の
ビクビクして...
...かわいい...♡

びん



イ...く...っ!!

クッ

クッ

だ...だめだ...

いったのに
物足りない...

勇者



は

は

は

は

は



あ...皆...

は...♡

ちゅ...



我慢しなくていいんですよ♡

ちゅ...
ちゅ...

いっしょ
いっしょ

ん



何時間でも...ね?

ん...

す



このまま
4人で

ぬぎッ

満足するまで
しましよう♡

ぽんぽん



そのまま…
一気に…奥…まで
いれてくださ…



すっぴんっ



すっぴんっ

んああっ

あ…っ



さつきから…
ずっと…♡

欲しかった…ん
…です…っ

はあ

とどろん

あっ

あ

あっ

奥まで突かれ
たく……って……

……我慢……
できなかつた
……んです……!

とどろん

とどろん

とどろん

あっ

奥が凄く
締め付けて
くる……!

あ

あ……

はあ
はあ

もう限界
なんだ……♡

アタシ……にも
いれてくれよ……

勇者あ……

ぎゅん

なかが
膣内が
締め付けて……

ふあ……っ！

ズ
ズ
ズ

あわっすん！！

ズ
ズ

わたくしも
勇者さまを
気持ちよく
してあげたいです

アタシも……♡

あ
あ
あ

あ
あ
あ

ん
ん
ん

ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ

あ
あ
ズ
ズ
ズ

ん
ん
ん

ん
ん
ん

ん
ん
ん

うあ……っ

3人が俺を
気持ちよくしよつと
してきて...

頭がおかしく
なりそうだ...!



こっちも
気持ちよすぎて
腰が止まらない...!

またおつきく
なって...♡

えあ

ちゅ



奥まで...
突かれて...っ

ぐほっ
ちゅ
ちゅ



私...4人で
気持ちよく
なりたい...です...っ

勇者...さま...っ





だ…だめ…
感じちやう…っ

あ…あ…
ズン…ズン…

んん

あ…あ…

んん

あ…♡
指がはいって…っ

ふあああっ!

ズン
ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン



おかし…く
なっひや…っ

ズン

ぬ

ズン

はげし…すぎ…っ



んん

んん

このまま
一緒…に…

んん



んん

んん

限界…です…

んん

んん



だめ…
も…う

んん

んん

ビュルッ

あああ出て……っ！

あ……っ

えあ、

ム
カ
ム

あああい
あああ
あああ

びく





性欲を
高められたのに

我慢して
くれていた
でしょう？

そのおかげで
魔王の封印が

完全には
解けなかつた
んですよ

今までの俺の行動は
無駄じゃ
なかつたんだ…

あれだけしたのに
我慢した事に
なるんだ…

がぁあぁ

我慢して
なかつたら
どんな事に…

…それでは
わたくしは
予定通り

魔王を連れて
異世界に帰ろうと
思います

短い間でしたが
お世話になりました

…それでは…

はなせ

…あ…れ？

ふわっ



異世界に戻る分の
魔力が

まだ戻ってない
みたいですよ

がっはっ

だから
もう一回…♡

ちよつと
賢者さま!!



勇者さまは
私のモノだって
言ったじゃないですか!

お前のじゃ
ないって
言ってるだろ!

ええく
減るもんじゃ
ないのにく

ふっ



5人で
広い家に

住めるよう
頑張るよ

5人!?
吾輩もか!?

就活を
ちゃんと
頑張って…

褒められた文章を
形にしてどっかに
応募してみるよ

給料日後の
休日！

今日は豪華に
宅配サービスで
フルーツタルトを
頼んだ！

18:26
文を受け付けました
配達まで26分

お！
届いた！
月に一度の
スイーツ…！

すっ

よしの
吉野さん！
申し訳ありません！

お届けガールつまみ食い♡

サッ！

宅配のタルト
食べてしまいました！

は？

えええええ！



彼女は
愛野さん

大学生

すみません…

今日は朝からずっと
宅配サービスの
バイトをしていて

空腹だったらしい



いくら
空腹だったと
言っても

商品を
勝手に
食べるのはなあ…

宅配サービスの
運営に連絡するか…

ま…
待ってください!!



今運営に
連絡しようと
してますね!?

運営に連絡されると
首になっちゃうんです…
助けてください…

え…あ…
まあ…

そうは
言っても…

そうですね

楽しみに
してたんですよね…

何か
他のもので
お詫びします

月に一度の
楽しみだったから

よっぽどの物
じゃないとなあ…

こ…
こ…
こういうのは…?

ぬぎっ

きん

な…何ですか!?!
服着てください!

夕飯の
おかずに!
ぜひ!

いやいやいや!!

…ッ!?

かっ



や...
やわらかい!

えい!



女の人の胸
初めて触ったけど...



すべすべで
暖かくて...

もっと触ら
いたくなる...

ふに

ふに

ふに

ふに

ヤバ…!
このままじゃ
興奮してるとで
バレ…

…吉野さん

私も…
興奮しちゃいました

ああああ
すみません
すみません!
興奮してなんて
いません!

…え…

すんぽん

こっちも
食べてください♡

はあ

はあ

はあ



朝から…ずっと
走り回ってた…から

はあ

はあ

そんなとこ…っ

汚…い…よお…っ

ぢゅる、

あっ

ぢゅる、

んっ

びしょ



もう…だめ…ッ

イッちやんりんりんりんッ!!

あまあまッ!!

ああッ

吉野…さん…

こんどこそ…
私を食べて…

は…はい



あひいいいッ!

す!!
すんっ

我慢できない!!

あ...

気持ち良すぎて



こんな...に...
いい...の...
初めて...ッ!

スッ
スッ

吉野さん...の...
気持ち...いい...です!

スッ
スッ

ちゅぽ

スッ

おかしく
なっちゃ...ッ

す
は



愛野さ...!?

ん...っ

ぢゅん...

口も暖か〜っ...

甘い...

んあ
はっ

ぢゅん

ぢゅん

はあっ

甘い...けど
これは...

とろみ...

フルーツタルトの
味...

俺が食べるはず
だった...

...すみません...

ぢゅん
ぢゅん
ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん

もっと
お好きなように
していただいで
良いので…

…それなら…

ぐいっ

んあっ

はっさー

ぐいっ
ぐいっ

すちゅ
すちゅ

すちゅ
すちゅ

お…奥…ッ

さつきまでより
奥に…
とどいて…っ!

んあ

あ

ぐいっ

ぐいっ



自分の好きに
動ける分

快感が強い……



締め付けが
キツくなった……!?

ふああああつ!

きもちよすぎ……て
変に……っ!



だ……だめに
なっちゃう……ッ

スッ
スッ
スッ

おく…ままで
とどろこして…

あ

ず
3.0
ん

んあ

す
3.0
3.1

ズ
7.0
ツ

私…いっぱい
感じて…

食べられ…てっ
ただかかれてる…!

あ
あ
あ

あ…あの
これ以上…は…

も…と…

あ
あ

ん
あ
あ

ただの
お詫び…だった
のに…

き
か





ずいっ
びん

ずいっ
びん

あ...の...っ
また...

ずいっ
びん

ずいっ
びん

はっ
びん

びん
びん

あ

!!!!!!!!!!!!

びん

びん
びん



また...っ

ここにデリバリーに
来たく...

びん
びん

ずいっ
びん

びん
びん

!!!!!!!!!!!!

びん
びん





いくつ
いっせやん

ク
ク
ク

ク
ク
ク

ク
ク
ク

！！

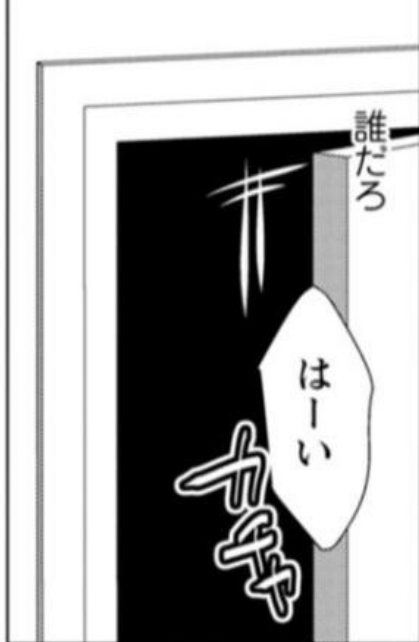


…ごちそうさま
でした

…おそまつさま…

でし…た♡

ク
ク
ク



ワンルーム
ONE ROOM HAREN
ハーレム♡

異世界転生の
勇者さま♡

こんにちは。松波です。
読んでいただきありがとうございました！

今回は
異世界帰りの勇者＋その仲間たちのお話…
ということで、普段とはまた違う雰囲気
で描けて楽しかったです！

猫耳もエルフも大好きなので、
いっぱい描けて嬉しかったです。
唯一の心残りページ数の都合で
魔王ちゃんの成長後の姿を
描けなかったことですかね…。
というわけでここで描いてみました。
多分一番の巨乳。

また機会がありましたら
別の本でお会いしましょう。
ではまたー！

2024.

おなみこみ



【初出】

ワンルーム ハーレム♥~異世界帰りの勇者さま~

『アクションピザッツ』

2022年11月号

2023年1月号 3月号 5月号 7月号 9月号 11月号

2024年1月号 3月号(隔月掲載)

お届けガール つまみ食い♥

『アクションピザッツ』

2022年9月号



カバー折返し・1



カバー・表



カバー・裏+背表紙

あ
エンジェルコミックス
PIAZZ BRAND



**ワシルーム
ハイレム**

「異世界転生の勇者ちゃん」

松波留美

成年
コミック

エンジェル
出版

雑誌52260-98

エンジェル出版



カバー折返し・2

ワンルーム
ONE ROOM HAREN
バーレム♡
異世界転生の
恋愛アドベンチャー



表紙・表



表紙・裏





エンジェルコミックス

ワンルームハーレム♥

いせ かいがえ ゆうしゃ
～異世界帰りの勇者さま～

2024年4月17日 第1刷発行

まつなみ るみ
著者◎●松波留美

発行者◎●庄盛克也

印刷所◎●TOPPAN株式会社

発行所◎●株式会社エンジェル出版

〒162-0813 東京都新宿区東五軒町3-28

[営業]03-5261-4860

[編集]03-5261-4846

装幀◎●古谷昌博(神楽坂マガジン社)

装画◎●松波留美

落丁・乱丁の場合は本社にてお取り替えいたします。

●定価はカバーに表示してあります。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

©Rumi Matsunami 2022 Printed in Japan.

ISBN978-4-86772-088-2 C9979

◆この作品はフィクションです。登場人物・団体等はすべて実在のものとは関係ありません。